

令和7年12月18日

## 令和9年度愛媛大学教育学部入学者選抜総合型選抜I 「地域教員希望枠入試」 Q&A

愛媛大学教育学部では、愛媛県内、特に、人口減少が著しい地域における教師人材確保を目的として、令和9年度愛媛大学教育学部入学者選抜において総合型選抜I 「地域教員希望枠入試の導入」を行うこととなりました。この入学者選抜の対象は、卒業後、愛媛県で教職に就き、特に人口減少が著しい地域において地域創生に貢献する強い意志を有する者です。

総合型選抜I 「地域教員希望枠入試」について、よくある質問を以下のとおりまとめました。

この他に質問がある場合、教育学部事務課学務チーム（Tel: 089-927-9377 e-mail: [edgakumu@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:edgakumu@stu.ehime-u.ac.jp)）へお問い合わせください。

### 【学生募集要項について】

Q1 出願要件、個別学力検査等出題教科・科目、配点等を記載した学生募集要項は、いつ公表されますか。

A 出願要件、個別学力検査等出題教科・科目、配点等、令和9年度入学者選抜（教育学部）における令和8年度入学者選抜からの主な変更点は、令和7年7月に以下愛媛大学HPへ掲載しています。

### 愛媛大学HPリンク

これらの変更は、令和7年7月の内容であり、さらに変更する可能性もあります。

詳細については、今後発表する入学者選抜要項（令和8年6月中旬公表予定）、学生募集要項（令和8年6月下旬公表予定）等で確認してください。

### 【募集人員（入学定員）】

Q2 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の中でどの学校の種類を何人募集しますか。また、教科別の募集人員は何人ずつですか。

A 募集人員は、10人です。学校の種類別に分けていません。また、教科別に分けていません。入学後のコース等についてはQ9を参照してください。

#### 【出願要件】

Q3 人口減少が著しい地域とは、どこの地域ですか。

A 人口減少地域とは、人口の減少が著しく、その結果として地域社会の活力や機能が低下している地域を指します。指標として、例えば、総務省に過疎地域と指定されている地域や、老人人口指数、高齢化率、少子化率等の数値を参考にしてください。また、市町村だけでなく、これらの中にある地域も含みます。愛媛県の場合、南予地方の市町が該当します。また、東予地方の島嶼部や山間地域などが該当します。中予地方について、松山市のように人口が多い市町であっても島嶼部などが該当します。

志願者は、地域創生に関わる教育活動又はボランティアを行った地域が「人口減少が著しい地域」であることを、志望理由書で、公的機関が出している統計データなどとともに挙げて説明してください。また、その地域で地域創生に関わる教育活動やボランティア活動を行ったことを、活動報告書に記載してください。

Q4 出願要件3の「地域創生に関わる教育活動又はボランティア」とはどんなものですか。

A 教育活動とは、幼児・児童・生徒や教育系の大学生、地域の方等と直接関わって行う、教育に関連する活動です。個人の活動だけでなく、団体（部活やクラブなど）の活動も対象です。人口減少が著しい地域における地域創生に関わる教育活動又はボランティアの例は、以下のとおりです。

1. 地域の産業・経済の活性化に関する活動
2. 観光振興・交流人口の拡大に関する活動
3. 地域の文化・伝統の継承に関する活動
4. 地域コミュニティ・福祉に関する活動
5. 環境保全・自然活用に関する活動

上記に該当する愛媛大学が開催に関わる活動例は、以下のとおりです。

- ・ うわじま∞あいだいプロジェクト

愛媛大学生が、連携協定を結んでいる宇和島市に出向き、宇和島市の中高生とともに、宇和島市をよりよくするために何ができるかを考え、自主的に実践していく課題解決型プロジェクトです。

- ・ 地方創生イノベーター育成プログラム（南予）

愛媛大学の履修証明プログラムです。本プログラムは、①愛媛県及び南予地域を例としてわが国の「地方、地域」の現状や課題に対する深い理解、②課題解決のためのさまざまな分野からのアプローチ方法の知識理解と技術修得、③具体的な課題の解決方法を提案するまでのプロセスの経験を通して、わが国の国策として強く謳われている「地方創生」に貢献できる人材に必要な知識・素養や技術を修得することを目的とします。

令和7年度募集要項リンク

Q5 出願要件3の「地域創生に関わる教育活動又はボランティア」について、「地域創生に関わる」は、「ボランティア」にもかかりますか。

A 「ボランティア」にもかかります。「地域創生に関わるボランティア」です。

【出願書類に関するここと】

Q6 人口減少が著しい地域において、地域創生に関わるボランティアへ参加しましたが、参加した経歴を確認できる書類がありません。それでも出願できますか。

A 参加した経歴を確認できる書類が必要です。愛媛大学HPにボランティア活動参加証明書の様式を掲載します。ボランティア実施から日数が経過していてもかまいませんので、主催者または所属学校代表者の証明を受けたものを提出してください。

【選抜方法に関するここと】

Q7 共通テストを課さないことになっていますが、筆記試験はありますか。

A 総合型選抜Ⅰのため、共通テストを課しません。選抜方法は、面接と書類審査のみです。筆記試験はありません。

### 【入学後のプログラムに関するここと】

Q8 この入試で入学した場合、入学後、どのような学びを予定していますか。一般選抜等他の入試で入学した学生とは別のカリキュラムを受講することになりますか。

A 愛媛大学教育学部では、「地域未来教育演習」という授業科目名で、演習を実施しています。この演習は、次世代に必要な「地域で活躍する教育人材」を育成するために、愛媛県内の様々な地域に実際に出かけていき、小中高生の学びや行事を先生方と一緒に企画・運営したり、地域の現状や課題を学んだりしながら、愛媛県の地域・地方の魅力を知り、これからの中学校教員としての在り方を体験的に学んでいく科目です。令和6年度は、愛南町の小学校を2日間の日程で訪問し、小学生や教員と交流したり、松野町の棚田の保存活動に参加し、地域の小学生や大人の人たちと交流したりする活動が行われ、学生から高い評価を得ました。

この「地域未来教育演習」での学びを基盤として、それを発展させた教育実習等の学びを展開させることを目的に、令和9年度から「地域創生プログラム」を新設します。本プログラムでは、地域創生について基本的な事項を学習した後、1回生の段階から人口減少地域に足を運び、地域の実態を体験的に学びます。そこから課題を見つけ、地域の方々の協力を得ながら改善策を検討し、学びの成果を共有することを重視したプログラムです。

なお、本入試で合格した場合、「地域創生プログラム」（地域未来教育演習等）の受講を必須とする予定です。

Q9 この入試で合格した場合、入学後のコース等はどのように決定しますか。

総合型選抜I（地域教員希望枠）では、出願時にコース、サブコースを選択します。幼年教育サブコースは対象外です。入学後は、出願時に選択したサブコースに所属します。出願時に生活健康・芸術教育サブコースを選択した者は、合格後に生活健康・芸術教育サブコースの4教科から希望教科を選択します。

入学後はコース、サブコースの変更は認められません。